

5

アルバイトについて

アルバイトの目的 52

アルバイトの目的はさまざま

3大目的は「生活維持」**33.3%**、「身の回り費」**31.8%**、「コンパ・交際費」**23.6%**

アルバイトの週平均日数 54

授業期間中のアルバイト日数は週3日までが大半

2日以内：**44.7%**、3日：**26.5%**、4日以上：**17.0%**

アルバイトと勉学の関係 56

アルバイトは勉学の妨げになる

「妨げになる」「やや妨げになる」をあわせると**39.8%**

月平均収入・支出 57

収入額と大学生活の充実度はあまり関連ない

収入額が16万円でも8万円でも**8割**以上が充実

経済的独立と勉学との関連 58

経済的に独立している人は勉学にも積極的

独立している学生ほど授業や研究が将来役立つと考えている

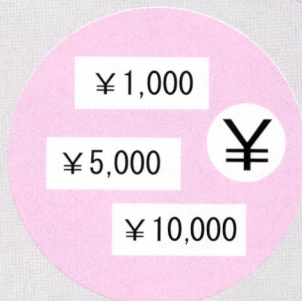
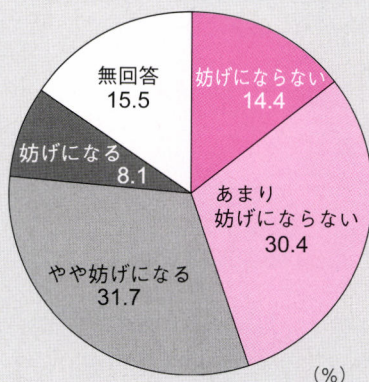
勉学費..... 60

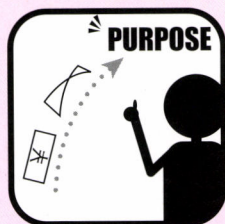
勉学費と授業への興味との関連はある

授業に興味がない学生の勉学費「0円」は**34.5%**、

授業に興味がある学生の勉学費「0円」は**12.0%**

Q 定職やアルバイトは勉強の妨げになりましたか？
または、なっていますか？





アルバイトの目的はさまざま

アルバイトの目的



3大目的は

「生活維持」**33.3%**、「身の回り費」**31.8%**、「コンパ・交際費」**23.6%**

アルバイトの目的はいろいろあるようです。「生活維持」、「身の回り費（衣類・美容）」、「コンパ・交際費」の比率が高くなっています。「アルバイトをしていない」という回答は20%程度あります。

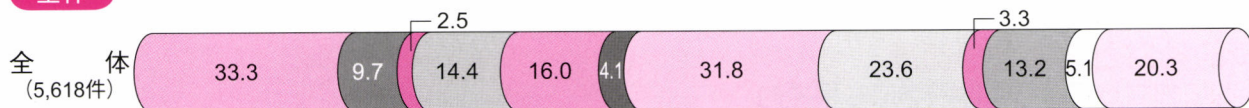
男性・女性別で見ます。男性の場合は、女性の場合の比率と比較すると、「生活維持」、「大型商品購入」の比率が高くなっています。女性の場合は「身の回り費」、「留学費」の比率が男性の場合

と比較して高くなっています。「コンパ・交際費」「アルバイトをしていない」という回答の比率は、男性・女性でほとんど違いはありません。

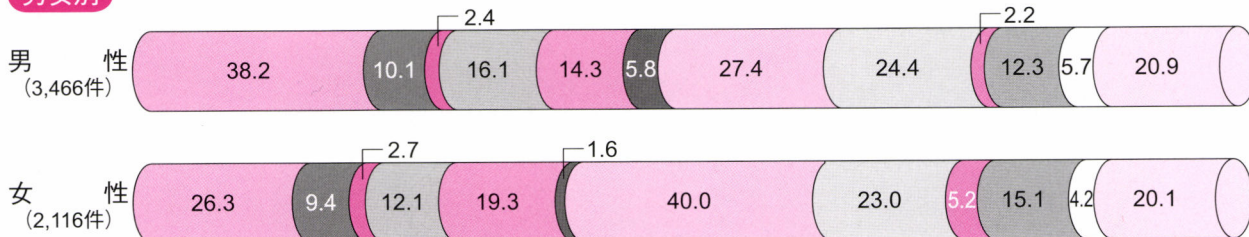
文系・理系別で見ますと、大体の傾向は同じですが、比率の小さいところで特徴を観察できます。例えば、文系学生の場合は理系学生の場合よりも「ダブルスクール費」、「留学費」が3倍程度高く、「大型商品購入」の比率が3分の1程度と低くなっています。

アルバイトの目的は？ [複数選択可]

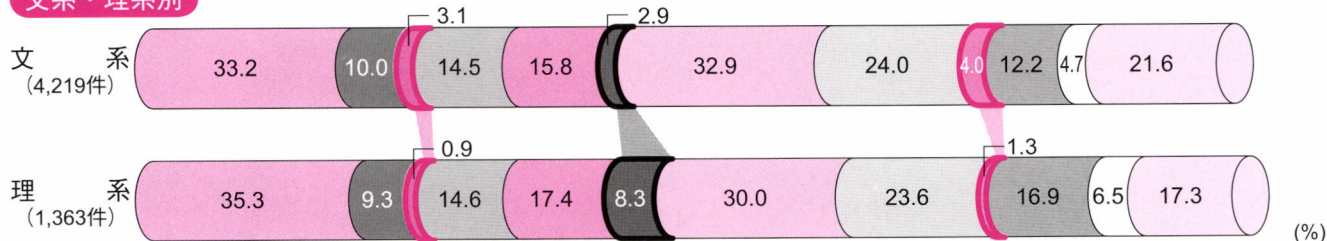
全体



男女別



文系・理系別



生活維持
 学費
 ダブルスクール費
 課外活動費
 旅行・レジャー

大型商品購入 (車、パソコン、高額家電商品)
 身の回り費 (衣類・美容)
 コンパ・交際費
 留学費

貯金
 その他
 アルバイトをしていない

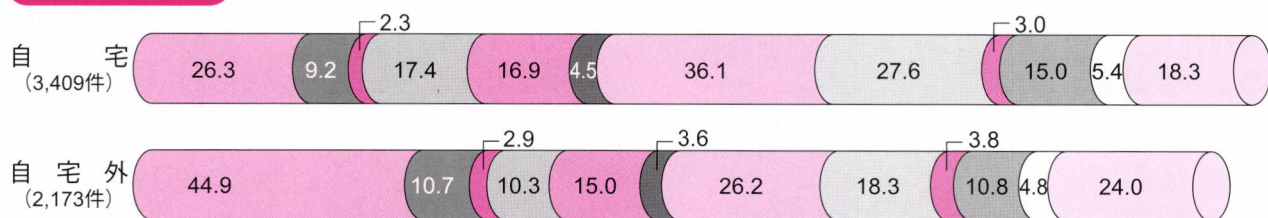
自宅・自宅外で区分してみます。自宅外の場合は「生活維持」の比率が自宅の場合の比率よりも高くなっています。その分、自宅外の場合の「課外活動費」「身の回り費」「コンパ・交際費」の比率が低くなっています。まずは生活が重要だという事情がうかがえます。一方、自宅外の方が「アルバイトをしていない」比率が高いことはやや意外です。

最後に、学年別で見ます。修士・博士の場合は「生活維持」「学費」の比率が高くなっています。また、「身の回り費」「コンパ・交際費」の比率が低くなっています。学年が上がると、経済的に自

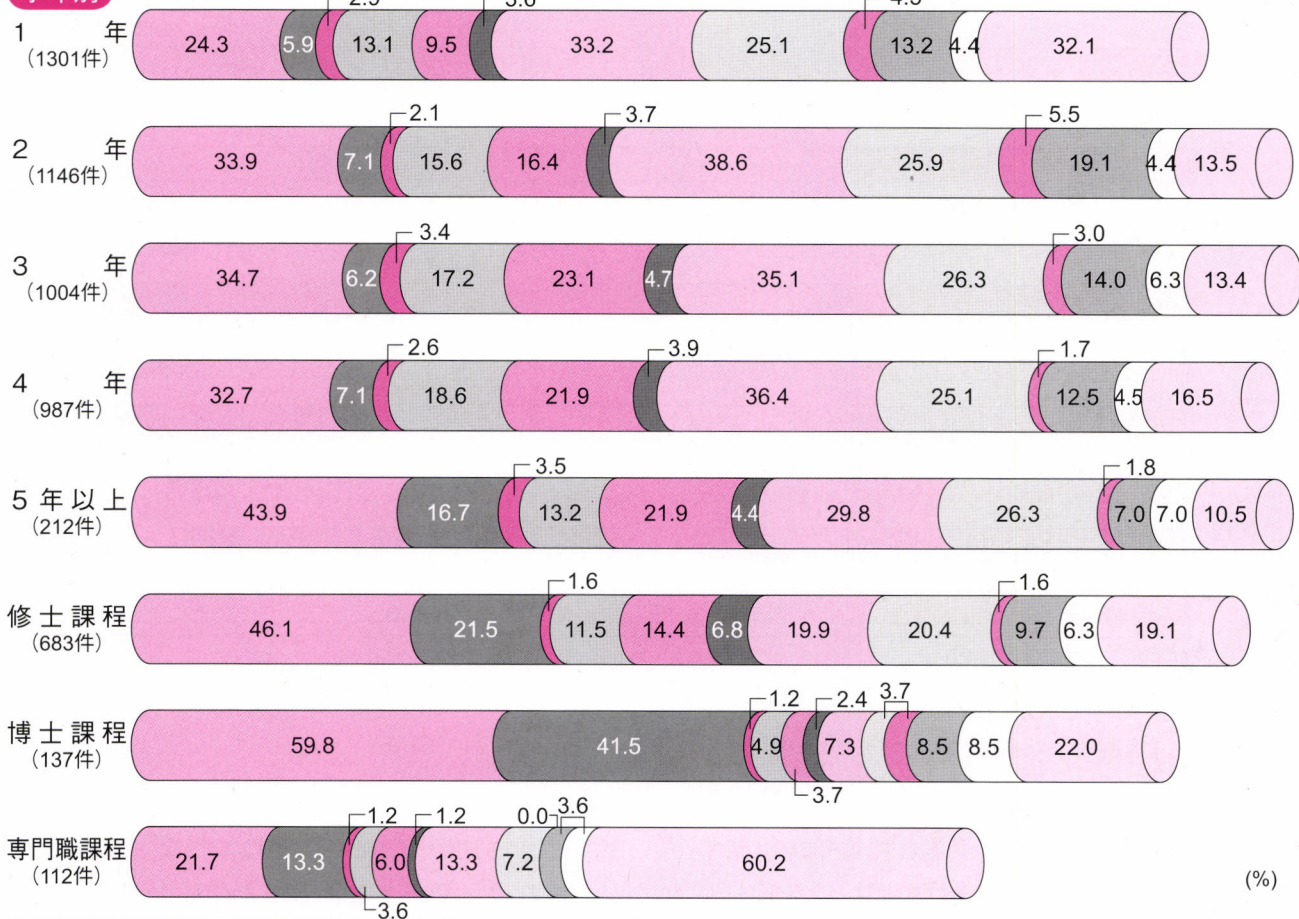
立に向かう傾向と勉学に集中する傾向があることを示していると思います。入学直後の1年生ではまだ、「アルバイトをしていない」という比率が高いのは当然のことでしょう。

グラフには表示しませんが、「アルバイトをしていない」と回答した学生は「授業に興味がある」と回答する比率が高めです。また、「課外活動費」と答えた学生はサークルに「参加している」比率が高く、「学費」「アルバイトをしていない」と答えた学生はサークルに「参加していない」比率が高い傾向があります。

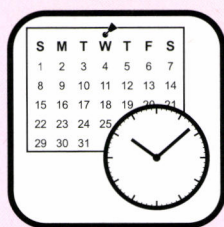
自宅・自宅外別



学年別



■生活維持 ■学費 ■ダブルスクール費 ■課外活動費 ■旅行・レジャー
 ■大型商品購入 (車、パソコン、高額家電商品) ■身の回り費 (衣類・美容) ■コンパ・交際費 ■留学費
 ■貯金 □その他 □アルバイトをしていない



授業期間中のアルバイト日数は 週3日までが大半

アルバイトの
週平均日数



2日以内：**44.7%**、3日：**26.5%**、4日以上：**17.0%**

アルバイトの目的の質問では、「アルバイトをしていない」と回答した比率は約20%ありましたが（52頁グラフ参照）、アルバイトの日数の質問では「0日」の回答が10.4%です。この違いは、アルバイトをしていない人の約半分が日数の質問には無回答だったからだと思います（無回答者の人数より推測できます）。

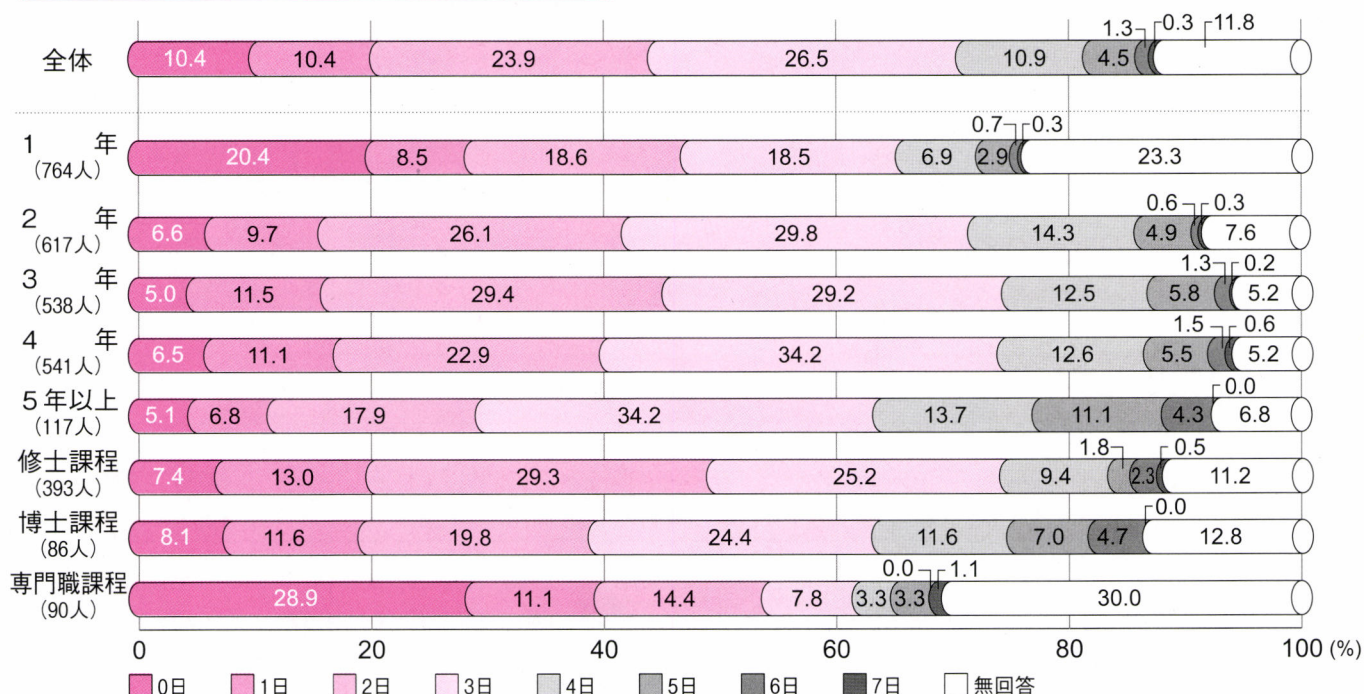
週4日以上アルバイトをしている学生は2割弱います。

学年別に層別すると、1年生は「0日」の比率

が20.4%となっていて他の学年よりも高いですが、2年から4年生と修士の学生は同じような傾向を示しています。また、5年生以上と博士課程の学生は4日以上アルバイトする比率が高くなっています。専門職課程では「0日」の回答が非常に多くなっています。

グラフには表示しませんが、理系・文系では、文系の方が平均的に0.4日程度、アルバイトの日数が多くなっていました。男性・女性、自宅・自宅外による違いはあまりありませんでした。

授業期間中の週平均アルバイト日数 学年別

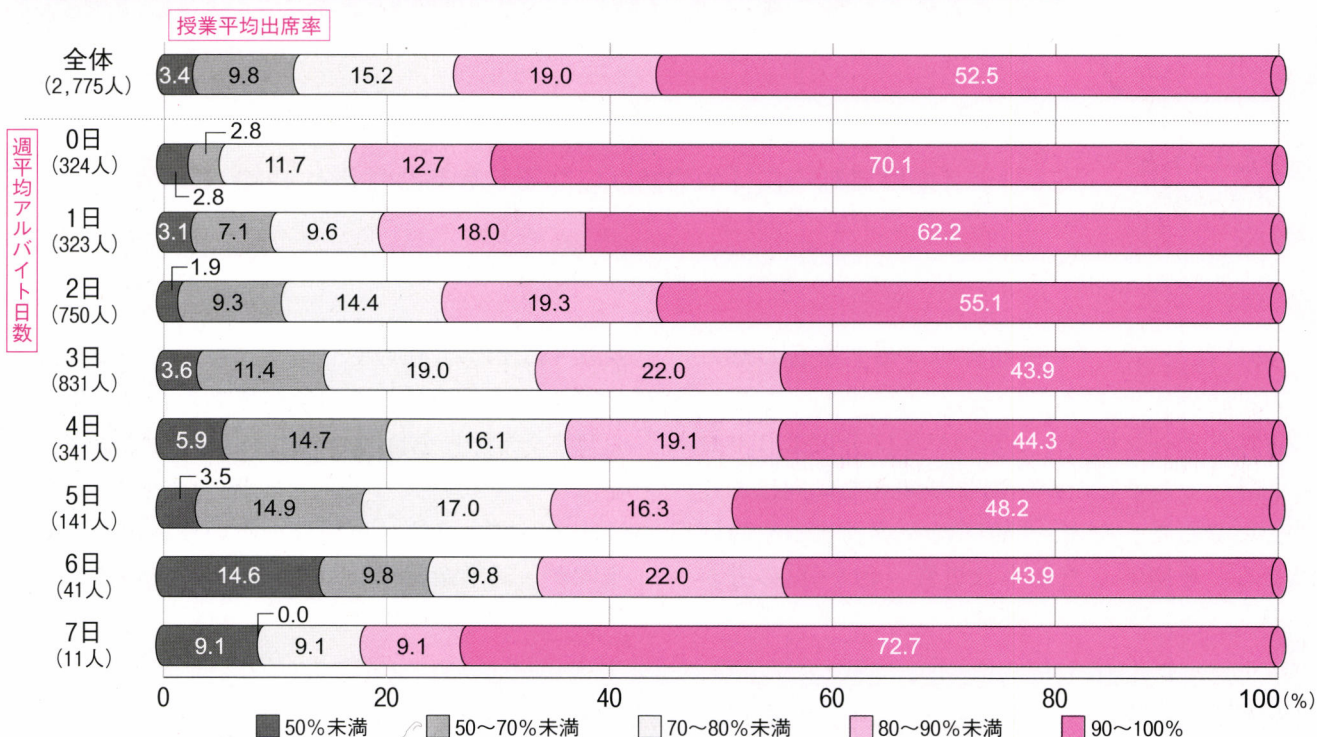


※「無回答」の選択が多かったため、「無回答」選択者を含めて集計。

アルバイトの日数が増加すると授業平均出席率は低下しています（次頁グラフ参照）。「0日」から「3日」につれて徐々に授業出席率は悪くなり、「3日」から「5日」は同じ程度です。「6日」が出席率は最低です。「7日」では授業出席

率「90%～100%」の比率が73%となっていますが、これは「7日」と回答した学生が11人と少なく、特殊な回答結果に影響されているものだと考えられます。学業との両立を適切に考えないと、本末転倒になってしまいます。

週平均アルバイト日数／凡例 あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？

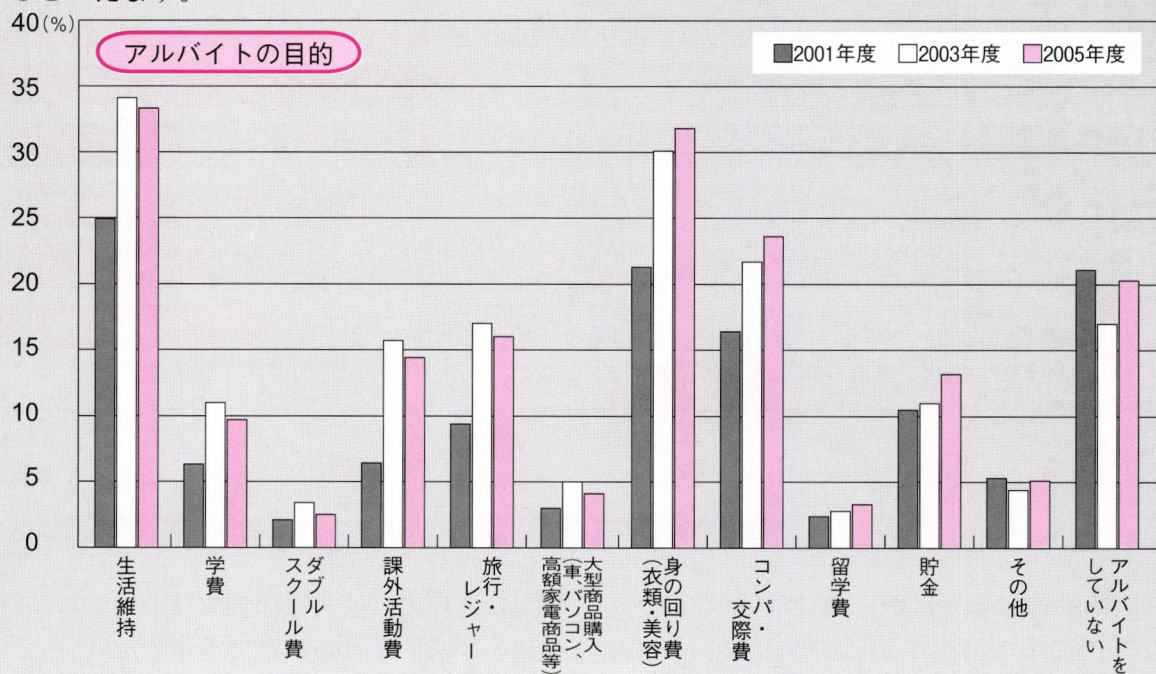


コラム

アルバイトの目的はさまざま

アルバイトの目的の回答方式は複数選択（2つまで理由を選択出来る）のため、合計%が100%を超え129.0%（2001年度）、173.0%（2003年度）、177.4%（2005年度）になっています。近年の合計%数の増加は、アルバイトの目的を1つだけでなく、2つ回答している人が多くなっていることを表し、アルバイトの目的が多様化していると考えられます。

目的の上位は過去5年間ともに、大きな変化が見られませんが、今年の3大目的でもあった「生活維持」「身の回り費」「コンパ・交際費」を目的とした人が多く、年々増加する傾向にあるといえます。





アルバイトは勉強の妨げになる

アルバイトと
勉強の関係



「妨げになる」「やや妨げになる」をあわせると**39.8%**

「妨げになる」、「やや妨げになる」を合わせると39.8%です。

回答パターンをいくつかの学生区分によりクロス集計してみましたが、あまり顕著な傾向はありませんでした。ただ、「妨げになる」、「やや妨げになる」と回答した比率は男性（49.3%）の方が

女性（43.3%）よりもやや高めになっていました。

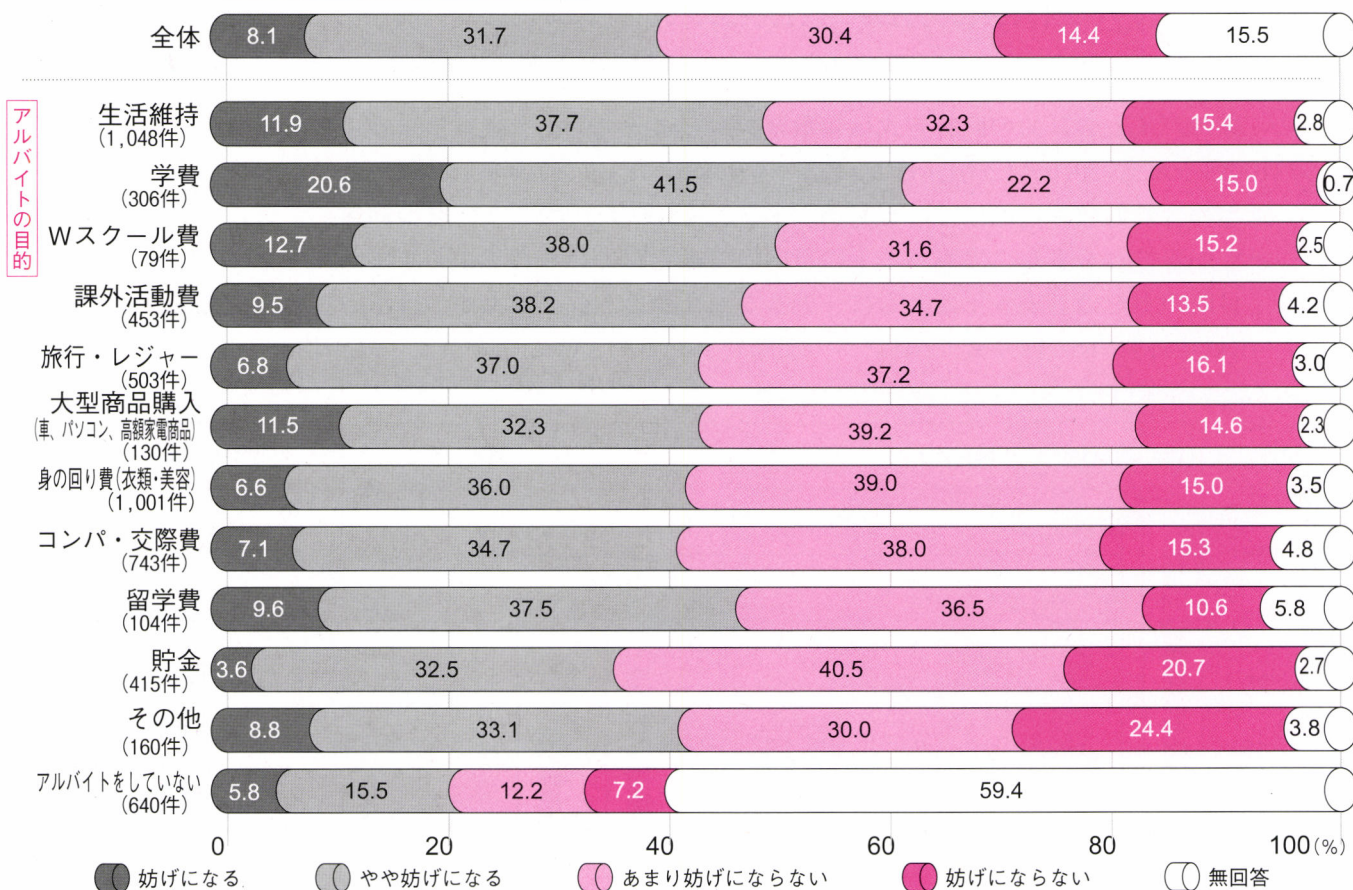
アルバイトの目的の回答結果とのクロス集計からは、「学費」を目的としている人は「妨げになる」、「やや妨げになる」の回答の比率が62.5%と高くなっています。事情はいろいろあるかと思いますが、奨学金制度などの充実が望まれます。

クロス
集計

アルバイトの目的は？ [複数選択可]

凡例 定職やアルバイトは勉強の妨げになりましたか？ または、なっていますか？

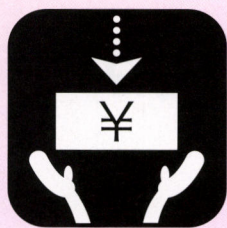
アルバイトは勉強の妨げになりますか



※「無回答」の選択が多かったため、「無回答」選択者を含めて集計。

グラフには表示しませんが、「妨碍になる」と回答した人は授業の出席率が「50%未満」と回答した比率が高かったこと、「妨碍になる」と回

答した人の中には長時間アルバイトをしている人の比率が高いことが観察できました。



収入額と大学生生活の充実度は あまり関連ない

月平均収入・支出



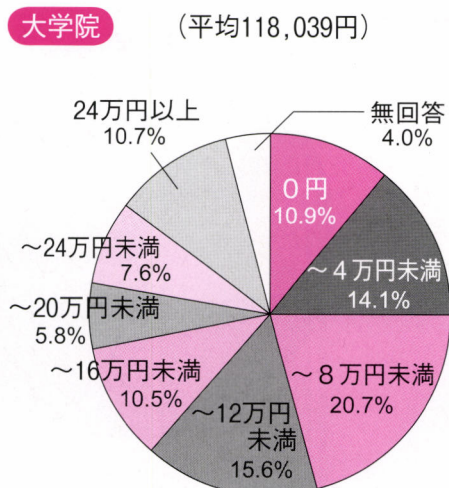
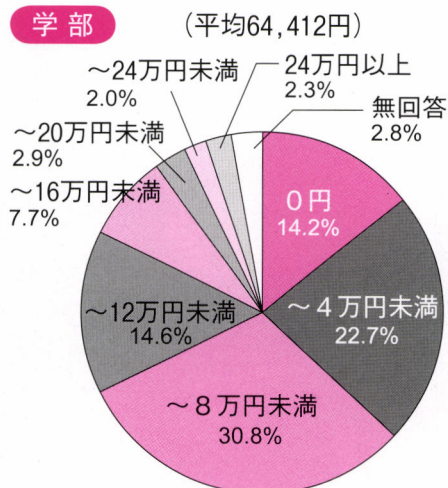
収入額が16万円でも8万円でも **8割** 以上が充実

学部学生では1カ月当たり「8万円未満」が67.7%、大学院学生の場合は1カ月あたり「8万円未満」が45.7%です。

グラフには表示できませんが、自宅・自宅外では、自宅外の方が収入は多くなっていました。「8万円未満」が自宅平均(54,384円)では78.7%、自宅外平均(103,737円)では45.9%です。また、男性平均(78,978円)の方が女性平均(65,864円)より収入はやや多く、文系平均(77,919円)の方が理系平均(61,794円)より収入はやや多いようです。

収入が「20万円未満」では、どの金額でも、大

あなた自身の1カ月当たりのおおよその平均収入支出の内訳を教えてください

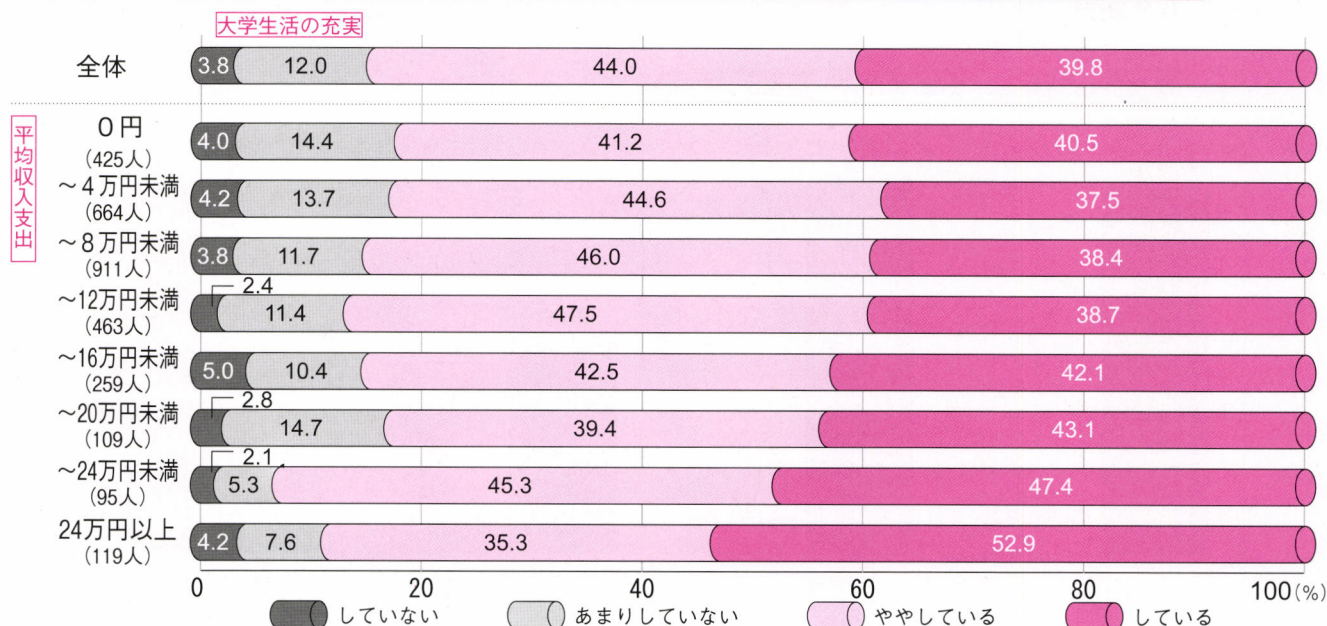


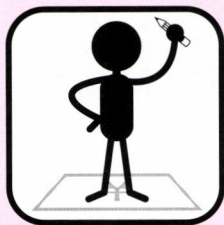
学生生活の充実度について「している」、「ややしている」の比率が84%前後でありあまり違いはありません。収入が「20万円以上」となると、充実度についての比率がやや上がって90%前後となります。

クロス集計

あなた自身の1カ月当たりのおおよその平均収入支出の内訳を教えてください

凡例 大学生生活は充実していると思いますか？





経済的に独立している人は 勉学にも積極的

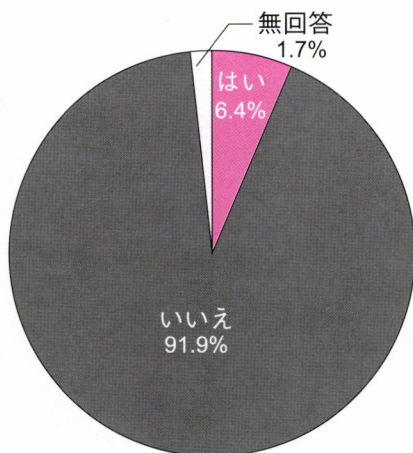
経済的独立と
勉学との関連



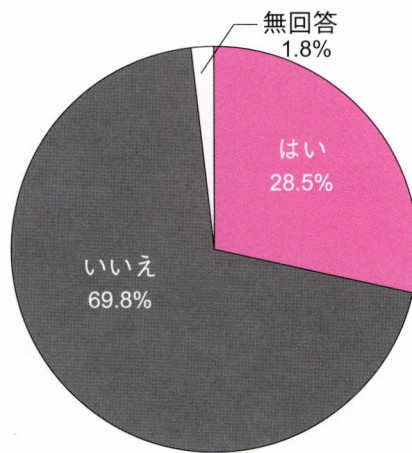
独立している学生ほど授業や研究が将来役立つと考えている

あなたは、経済的に独立していますか？

学部



大学院



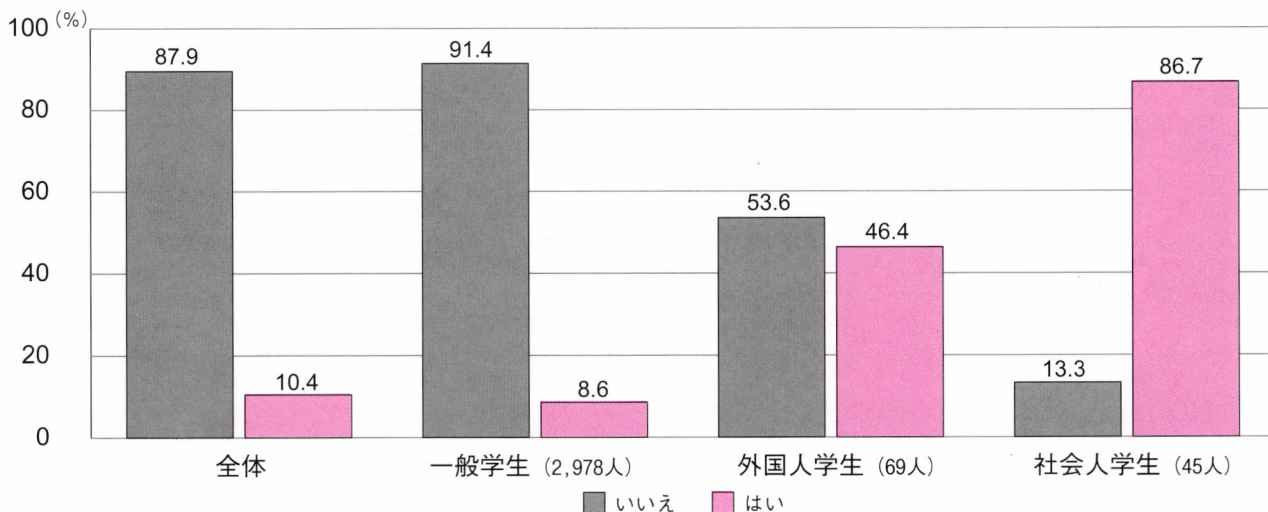
経済的に独立していますかの質問に「はい」と回答した比率は、学部学生では6.4%、大学院学生では28.5%です。

学生全体では、「はい」と回答した比率は10.4%です。一般学生の場合は8.6%、留学生の場合は46.4%、社会人学生の場合は86.7%です。社会人学生でも、独立していないと回答する学生が13.3%います。大学側の受け入れ体制のさらなる工夫が必要かもしれません。

グラフには表示しませんが、学部学生と大学院学生を比較すると、理系では学部学生と大学院学生で「はい」と回答した比率はそれぞれ3.2%、9.2%と低くなっていました。しかし、その他では、学部学生より大学院学生の方が5倍から10倍近い比率で「はい」と回答しています。

「はい」と回答した学生は、教員と話を「している」比率や、授業平均出席率（グラフには示していません）が高くなっています。

あなたは、経済的に独立していますか？ 学生種類別



また、「はい」と回答した学生の方が、授業を選ぶ際に重要だと思う要素として、「担当教員」と回答する比率が高くなっている一方で、「いいえ」と回答した学生は「単位取得の難易」と回答する比率が高くなっています。

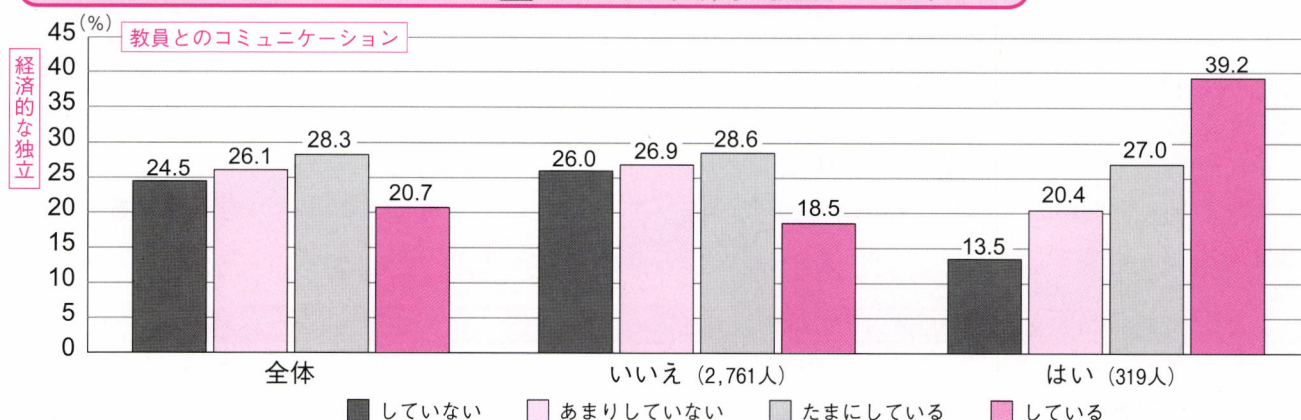
そして、「はい」と回答した学生の方が、大学での授業や研究が将来自分の進路先で役立つと

「思う」と回答する比率が高くなっています。

これらのことは、社会人学生や大学院学生が「はい」と回答する割合が高く、大学院学生は指導教員とのコンタクトが多く、授業にも熱心なことによる結果でしょう。しかし、それだけではなく、自費で勉強していることへの意欲の表れも含まれていると思います。

クロス
集計

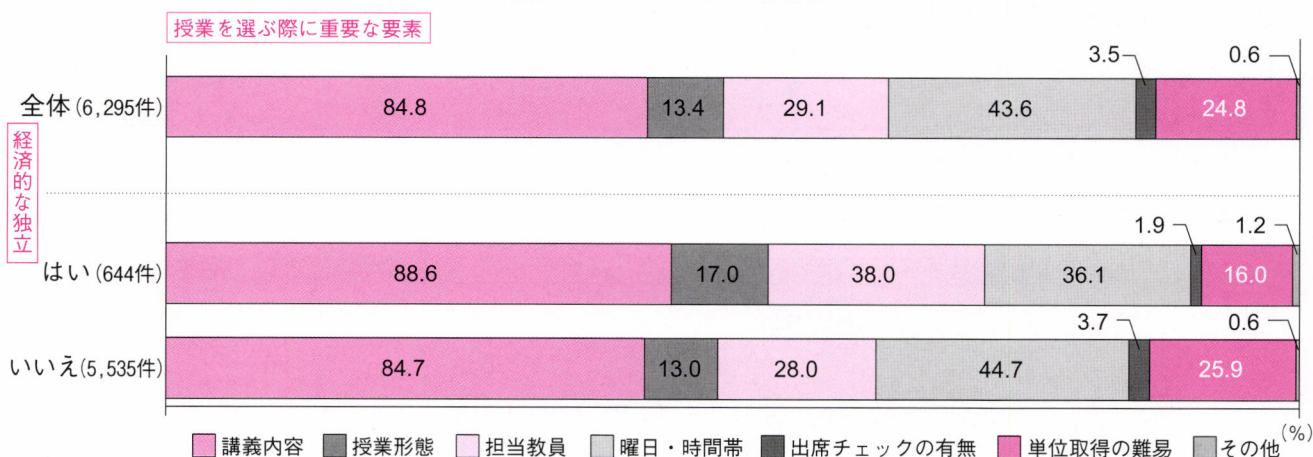
短時間でも教員と話をしていますか？／凡例 あなたは、経済的に独立していますか？



クロス
集計

あなたは、経済的に独立していますか？

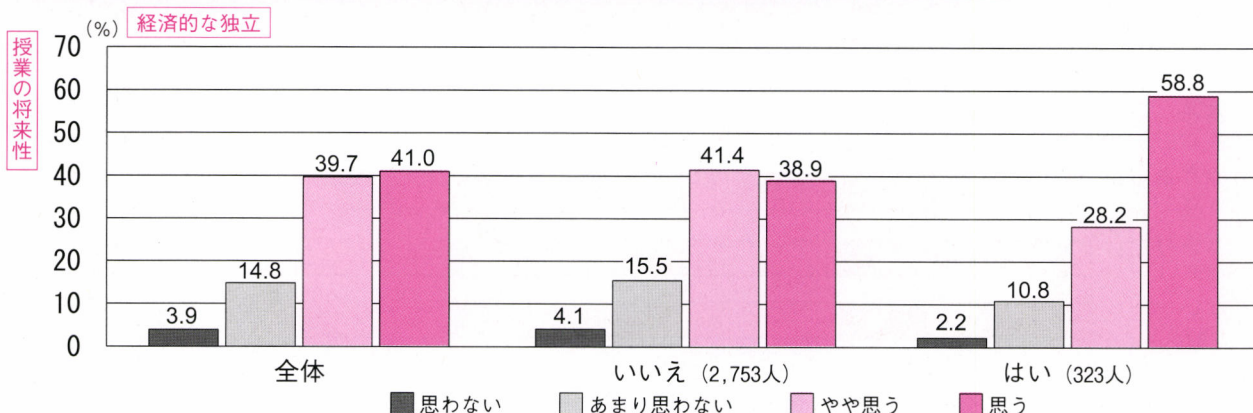
／凡例 あなたが授業を選ぶ際に重要だと思う要素は何ですか？ [複数選択可]

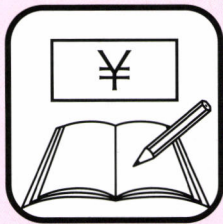


クロス
集計

あなたは、経済的に独立していますか？

／凡例 大学での授業や研究勉強は、将来自分の進路先でなんらかの役に立つと思いますか？





勉学費と 授業への興味との関連はある

勉学費



授業に興味がない学生の勉学費「0円」は**34.5%**
授業に興味がある学生の勉学費「0円」は**12.0%**

一カ月当たりの「勉学費」が「0円」という回答は13.9%です。「0～4万円未満」が57.9%、それ以上が24.0%です。

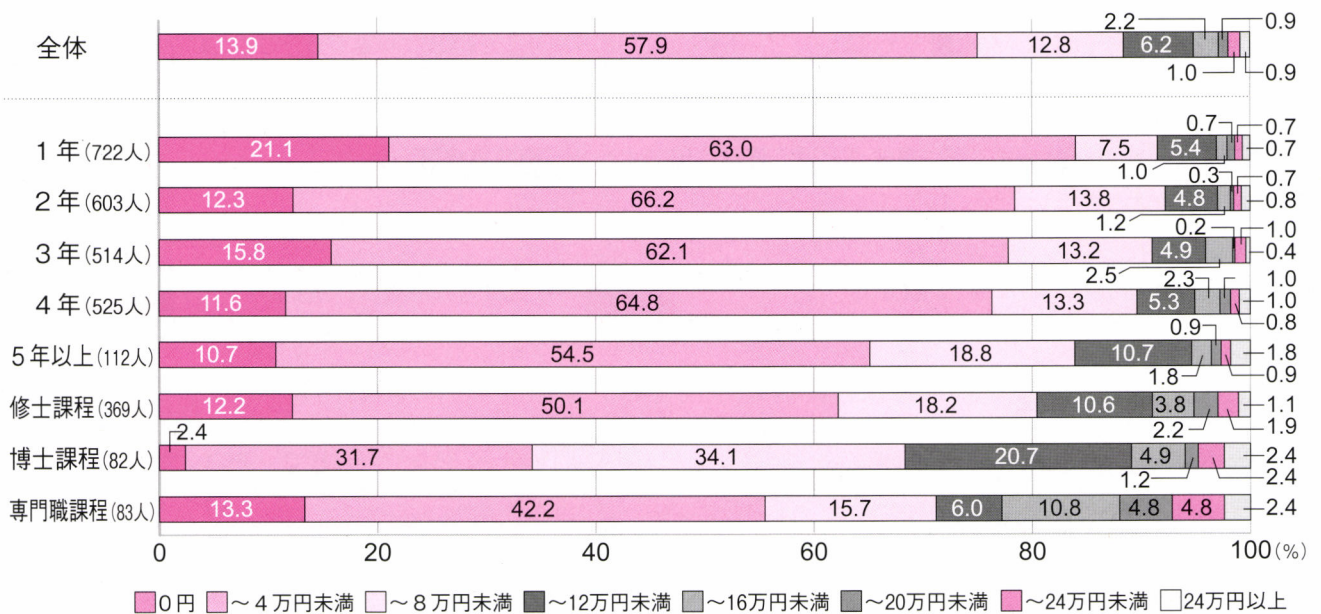
学年が上がると、勉学費の支出は増加しています。

大学の授業に興味がある学生の方が勉学費の支出は増加しています。

グラフには表示しませんが、文系の方が勉学費の支出は理系よりもやや多くなっていました。また、自宅外の方が、自宅よりもやや多いようでした。大学での授業や研究が将来の自分の進路先で役に立つと思っている学生の方が勉学費の支出は多いようです。

あなた自身の1カ月当たりのおおよその平均収入支出の内訳を教えてください

学年別

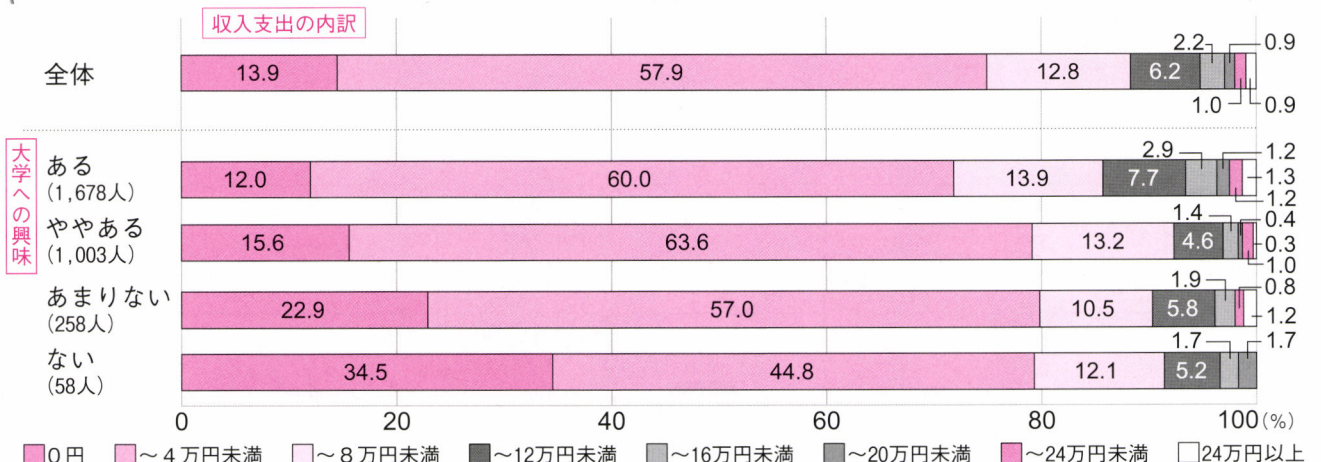


■0円 ■～4万円未満 ■～8万円未満 ■～12万円未満 ■～16万円未満 ■～20万円未満 ■～24万円未満 □24万円以上

クロス
集計

大学の授業に興味がありますか？

凡例 あなた自身の1カ月当たりのおおよその平均収入支出の内訳を教えてください



■0円 ■～4万円未満 ■～8万円未満 ■～12万円未満 ■～16万円未満 ■～20万円未満 ■～24万円未満 □24万円以上

自由記述回答結果

■早稲田大学に対して、工夫・改善の余地があると感じる点（100字以内）

→1,817件の回答（回答率57.8%）

■早大生になって最も良かったと感じている点（100字以内）

→1,719件の回答（回答率54.6%）

※本調査の趣旨と関係のない内容と思われる回答は集計・分析の対象としていません。

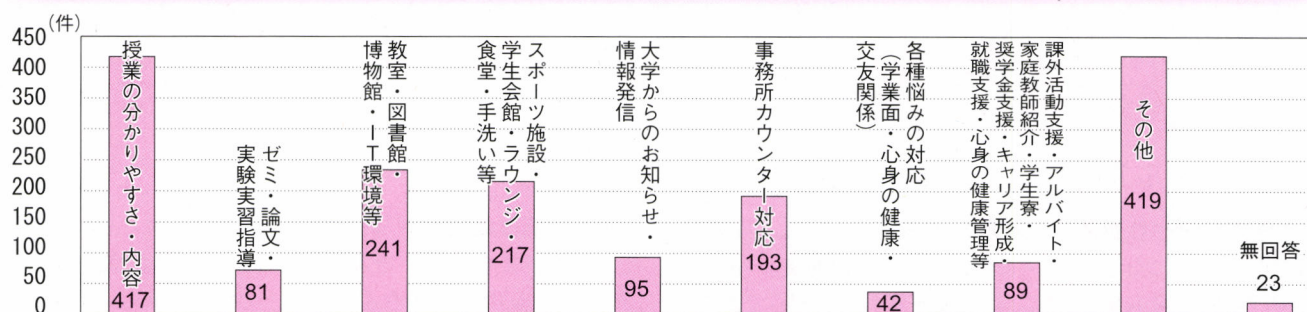
※この質問の回答は任意です。

●早稲田大学に対して、工夫・改善の余地があると感じる点

授業への期待が高い

「授業の分かりやすさ・内容」について
の回答が417件

授業の充実・分かりやすさを求める声が多く、授業への期待の高さがうかがえます。また、教室・図書館・食堂などのハード面への要望も多いことが分かります。授業などのソフト面、施設などのハード面といずれも学生の立場に立ったサービスが求められているといえそうです。



ジャンル別回答内容

＜授業の分かりやすさ・内容＞（417件）では、「授業内容」に関する回答が最も多く（277件）、代表的な回答では「授業がつまらない・分かりにくい・一方的」といったものが多く、授業内容の改善を求める声が多く見受けられました。次いで、「選外をやめてほしい」、「科目登録の際にお試し期間を設けてほしい」といった授業手続きに関する要望や「授業の少人数化」といった授業形態に関する改善を求める声も多く寄せられました。

＜ゼミ・論文・実験実習指導＞（81件）では、「授業内容の充実」といったゼミの授業内容に関する回答（25件）が最も多く、次いで研究室などの施設・設備への要望も多くありました。

＜教室・図書館・博物館・IT環境等＞（241件）では、「教室・校舎」に関する要望（90件）が最も多く、代表的な回答では「教室の冷暖房整備や清潔さ」を求める声が多く見られました。次いで、図書館（36件）やIT環境（20件）に関する要望もありました。

＜スポーツ施設・学生会館・ラウンジ・食堂・手洗い等＞（217件）では、「食堂」に関する回答が多く（47件）、「メニューの充実・価格が高い・狭い」といった声が多く見られました。特に、理工学部では「食堂を広くしてほしい」との要望が多く見られました。

＜大学からのお知らせ・情報発信＞（95件）では、「情報が不足している」（42件）、「情報が分かりづらい」（12件）などの回答がありました。また、休講情報に関しては「携帯電話で確認できるシステムにしてほしい」（9件）といった要望もありました。

＜事務所カウンター対応＞（193件）では、「対応が悪い」（145件）との声が圧倒的に多く、「事務所の開室時間の見直し」、「事務所同士の連携強化」を求める意見もありました。

＜各種悩みの対応＞（42件）では、「学業面でのサポート」（20件）に関する回答が最も多く、「教師とのコミュニケーションがとりづらい、相談ができない」といった声も寄せられました。

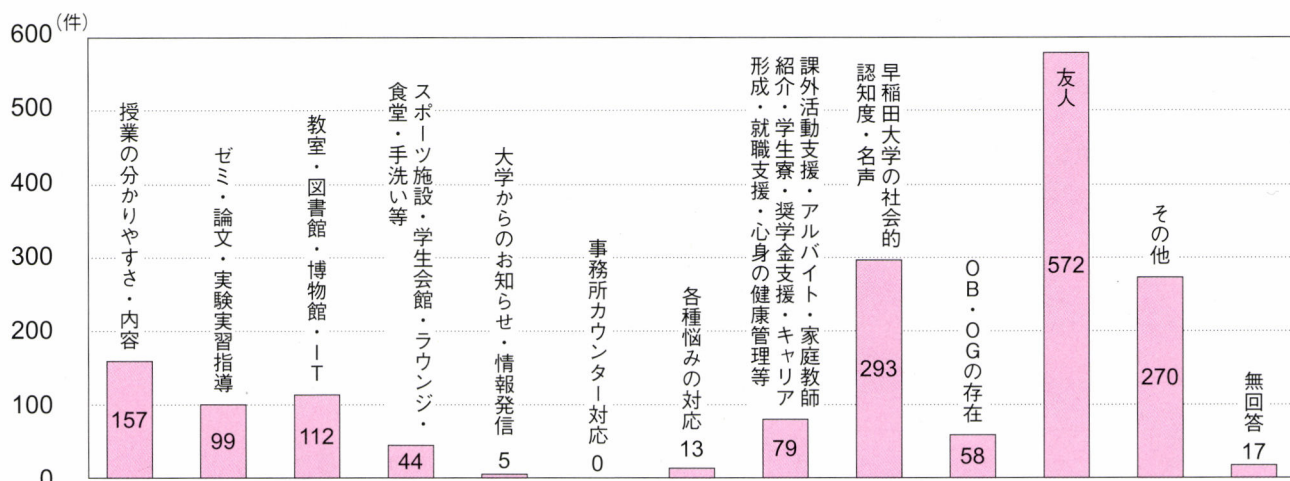
＜課外活動支援、アルバイト・家庭教師紹介、学生寮、奨学金支援、キャリア形成・就職支援、心身の健康管理等＞（89件）では、「就職支援」（22件）、「奨学金支援」（22件）や「キャリア形成支援」（9件）など就職活動に関するサポートや経済支援を強く求める声が見られました。

● 早大生になって
最も良かったと感じている点



「友人との出会い」がダントツ！
「友人」についての回答が572件でトップ

「友人」に関する回答が最も多く、出会いの機会や友人関係の構築に高い満足感を抱く早大生の姿がうかがえます。次に、「早稲田大学の社会的認知度・名声」に関する回答が多く、早大生が誇りを持って学生生活を送っているといえそうです。



ジャンル別回答内容

＜授業の分かりやすさ・内容＞（157件）では、「授業が楽しい、ためになる」といった「授業内容の充実」（53件）を挙げる声が多く、次に「教員が優秀で、熱心である」といった「教員の充実」（33件）を挙げる声も多く見られました。早大生の授業に対する満足度が高いといえそうです。

＜ゼミ・論文・実験実習指導＞（99件）では、「良い指導教員に出会えた」といった「教員との出会い」（29件）を挙げる声が多く、次に「研究室の設備・指導体制がよい。自由に研究ができる」といった「研究環境の良さ」（22件）についての回答も多くありました。

＜教室・図書館・博物館・IT＞（112件）では、「図書館の充実」（69件）を挙げる声が半数以上を占めています。その中でも特に「蔵書数の充実」（35件）といった回答が高い割合を占めていました。

＜スポーツ施設・学生会館・ラウンジ・食堂・手洗い等＞（44件）では、「サークル活動の充実」（11件）についての回答が最も多く、次いで「学生会館の充実」を挙げる声が多く見られました。

＜大学からのお知らせ・情報発信＞（5件）では、「ワセダネットポータルシステムのシステムが便利」などの回答がありました。

＜事務所カウンター対応＞についての肯定的回答は残念ながら0件でした。学生サービスの視点に立った窓口対応が求められているといえそうです。

＜各種悩みの対応＞（13件）では、「多くの出会いがあり、さまざまな経験ができた」（4件）といった交友関係や「相談できる場所がきちんとある」（2件）といった心身の健康についての回答が寄せられました。

＜課外活動支援・アルバイト・家庭教師紹介・学生寮・奨学金支援・キャリア形成・就職支援・心身の健康管理等＞（79件）では、「サークル活動の充実」（13件）を挙げる声が多く、次いで「交友関係が深まった」（9件）といった回答になっていました。学生生活において、サークル活動の比重が大きいといえそうです。

＜早稲田大学の社会的認知度・名声＞（293件）では、「知名度の高さ」（67件）を挙げる声が多く、次いで「就職活動での優位」（33件）との回答が多くなっていました。多くの学生が知名度の高さを意識しながら学生生活を送っているといえそうです。また、就職活動においても、知名度が活かされているようです。

＜OB・OGの存在＞（58件）では、「人脈が広がった」（12件）を挙げる声が多く、さらに「OB・OGとのつながりが強い」（11件）、「就職活動でアドバイスが得られる」（10件）などの回答が多く見られました。多くの学生がOB・OGのありがたさを実感しているといえそうです。

＜友人＞（572件）についての回答は、「さまざまな人に出会えた」（193件）が最も多く、次いで「良い友人ができた」（113件）、「交友関係が広がった」（61件）との回答が得られました。学生生活において、かけがえのない友人を持てたことが良かったと考える早大生の姿がうかがえます。